

平成30年 6月 4日



担当課	文化振興課
担当者	前田、清水
電話	(073) 435-1194
内線	3018

## 和歌山市指定文化財の指定について

このことについて、平成30年5月11日開催の和歌山市教育委員会で、次のとおり、3件の文化財資料が「和歌山市指定文化財」として指定されました。和歌山市指定文化財の件数は合計63件となりました。

名称	種類	所在地	主な内容
きしゅう とくがわけ しょうし し 紀州徳川家所用獅子 ちゅうしぼいん 鈕子母印	工芸	わかやま歴史館	 紀州徳川家代々に伝えられた大変重要な金印で、親獅子、子獅子、六面体の3つの印からなる。
わかやまじょうないしゅつど じちんぐ 和歌山城内出土地鎮具  にしのまるちょうしょうかくしゅつど じちんぐ 西之丸聴松閣出土地鎮具  てんしゅだいしゅつど じちんぐ 天守台出土地鎮具	考古	和歌山城天守閣 など	  昭和48年の紅葉溪庭園の整備工事中に「聴松閣」という建物跡地から出土。江戸時代前期～中期。  戦災を受けた後の天守閣復興工事中に発見されたもので、江戸時代末に再建された天守閣に伴うものとみられる。
やまもととうりけんしょう ぼ ひ 山本東籬顕彰墓碑 に い だ よ し ふ る せん ぶ ん (仁井田好古撰文)	歴史	大立寺 (和歌山市橋向 丁5番地)	 紀州藩による地誌である「紀伊続風土記」の最初の編さんを手掛けた山本東籬（江戸時代後期の紀州藩の儒学者）を偲ぶ墓碑。